

第2回 芦別市総合庁舎整備市民検討委員会

日時 令和元年12月23日(月)

午後6時

場所 市役所3階第1会議室

【会議次第】

- 1 開会
- 2 グループ討議
- 3 その他
- 4 閉会

■ 第1回市民検討委員会意見等の概要

	区 分	意 見
1 庁舎整備について	(1) 人口減少による意見	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 市の人口が、2045年には7千人台になることから、建物の耐用年数を70年とした場合、人口減少のスピードと様々な兼ね合いが合わなくなり、人口が減る中で、職員、サービスを受ける住民の数も減ることも現実的に考えられ、各地方自治体の生き残りも含めてどうなっていくかわからない。 ◇ 災害時の拠り所になるので大事であるが、人口が減っていった中で、耐震が70年も見通せる建物があったとしても、その間に財政が厳しくなり、行政サービスが低下するならば、住みにくいということになり、人口減に拍車がかかる。 ◇ 10年、20年、30年先、この間に世の中は相当変わっていくので、慎重に手を打たないと、耐震性のある建物は出来上がったものの、その後、病院の問題、財政の問題が生じ、言葉は悪いが夕張のようになっては困るので、市民が何を望んでいるのか声を十分聞いてほしい。
	(2) IT(AI)による意見	<ul style="list-style-type: none"> ◇ ITとかの進展によって市役所に来なくてもよいという可能性もあり、印鑑証明がコンビニで手続きできるなど、これからも様々なことができるようになると思う。
	(3) 複合化による意見	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 病院の問題により、市・市民とも心配な状況になっており、今後の施策の向き方によっては病院をどういう風に残していけるかも難しくなっていることから、庁舎に関連して病院をうまく使えないか。 ◇ 病院を修繕してとなると、新築と同様な予算が必要ということであるが、病院を庁舎として、病院をこぢんまりと建て直すという手もあるのではないか。 今までの病床数を維持できるかを含めて、そういう先を見据えた検討も織り交ぜて行く必要があるのではないか。 ◇ 複合で図書館とか老朽化している施設を集約するならば、複合化しない場合、その施設にはこのぐらいの修繕が必要で、また建替となるとこのぐらいの予算が必要でとかの見せ方ができれば全体的な効果があると思う。 例えば商工会議所も古い建物であり、それらを含めてやればキャッシュアウトしていくものが抑えられる。そういったことが資料に盛り込まれるとわかりやすいものになると思う。
	(4) 建築手法による意見	<ul style="list-style-type: none"> ◇ コンクリート造にしなければならないのかということも検討する必要がある。公営住宅は地産材を使って建てている。林業を推していこうという流れがあるにも関わらず、RC造で市役所を新築することが、本当にいいのか。これだけ税金を使って市の業者がほとんど入れない、外部にお金が出て行ってしまうということもある。 ◇ 木材であれば、耐震を満たすことも可能であるし、3階・4階建てにする必要があるのかということも検討していただきたい。

区 分	意 見
<p>(5) グループ討議中に出された意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 有利と言って7億円を得るために急いでやっちゃって、将来大変なことになってしまわないか。 ◇ 病院問題などを含めて施設のコンパクト化を進めるなど様々なことを実施することで、7億を圧縮できるようになるならば良い。 ◇ 時間があって2年間考えられるとかではなく、来年の2月というのはいかがなのか。個人的には賛成であるけれど将来に禍根を残すようなことになると...。他の自治体も進めているが、まかり間違ってしまうと、どうにもならなくなって、サービス向上を目指して建設した建物によって、逆にどんどんサービスが低下することになってしまう。ソフトが低下する事態になっては行財政改革の縮充どころではないということに突き当たってしまう。 ◇ 今の市民に対しての利便性も重要だが、未来に対しての責任を果たさなくてはならない。それが30年後だとかではなく、10年後にどうなっているかわからない中、財政状況を踏まえると慎重に判断して行かないと。 ◇ 財源が苦しい中、これまでも建替えという話は聞いていたが、制度があるから飛び乗るのかと。そうではなくてもっと前から市民の声を聴いて理解を得られているのであれば、10年20年先もここに来れば用が足せるとか、もっと盛り上がってみんなが良かったねとなる。 ◇ 時間があっても様々なことが出すぎてまとめられないということもある。ただ、短期間であるならばもっと濃密な話をしていかなければならない。高齢者だけの話を聞いていけばそうなるのかもしれないが、今の子供たちが成長していったときに、行政サービスを受けながら拠り所となる庁舎。そういうものの姿がどのような形なのかを描く必要があると強く思っている。 まかり間違って大きな負担になってしまい、「なんであそこだけ立派な建物が残っているのだろうね」となってしまったら大変である。 ◇ 目玉の公共事業となることには賛成であるが、その後、苦しくなって事業ができなくなるとするのは...。事業者はバランスよく安定的に仕事がある方がいいと思う。

区 分	意 見	
② 討議（「新庁舎に求めるもの」・「建設場所について」の討議とした。）	グループ A／井上委員、大下委員、野崎委員、萩原委員、林委員、桑山委員 津幡総務部長、南総務課長、千葉危機対策課長 B／南委員、小林委員、岡部委員、道島委員 中内都市建設課長、高橋財政課長	
	(1) 建設場所に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 誰でも利用でき交通機関の良い場所。 ◇ 市民の目線で場所を考えてほしい。
	(2) バリアに関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 完全バリアフリー化、エレベーター、エスカレーターを設置。 ◇ 障がい者が利用しやすい施設。入口・トイレ等車いす対応。 ◇ トイレや窓口に点字の表示、音声もあればよい。
	(3) 複合化に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ◇ スーパー、コンビニ、飲食店等のテナントを入れる。 ◇ 銀行・信金の窓口の設置。 ◇ デイサービスの設置。 ◇ 図書館などと複合（図書館は滝川市を参考に）。 ◇ 商工会議所も複合し、民間企業を含めた資金調達をすること。
	(4) 設置してほしいことに関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 休憩所などのスペース。 ◇ 音声案内。 ◇ 子供たちが庁舎に興味を持つようミニシアターの設置。 ◇ 自由に弾けるピアノや各種楽器があり、ミニコンサートができるスペース。 ◇ トレーニング施設の設置及びインストラクターの配置。体力健康の維持・認知症対策。 ◇ 人口減少、高齢化、少子化となっていくのが現実だと思うので、さまざまな施設やイベント等で利用できる庁舎。
	(5) その他	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 土地はたくさんあるので平屋で建てたらエレベーターはいらない。 ◇ 人口減少を踏まえた庁舎の維持。 ◇ 芦別を感じられる建物。 ◇ 市内、建設業協会一体で建てる方法はないのか。 ◇ 交通の便、中央バス、きらきらバス乗車できるように。 ◇ 市民は窓口対応や交通機関などの利便性を求める。 ◇ スマホの活用により、庁舎に行かなくても良い時代が来るのではないか。

※ 今回は、建設場所まで行かなかったグループがあるので次回とした。また、今日の意見以外のような事でもいいので思いついた場合は次回提出してもらうこととした。